



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月3日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6820 URL http://www.icom.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大野 健治 TEL 06-6793-5301
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,619	4.1	201	17.3	44	△79.3	11	△90.9
24年3月期第1四半期	5,398	2.7	171	644.9	214	—	127	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △343百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.78	—
24年3月期第1四半期	8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	50,575	45,863	90.7
24年3月期	51,212	46,355	90.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 45,863百万円 24年3月期 46,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,800	1.2	710	0.5	770	64.1	540	81.0	36.44
通期	24,050	2.0	1,440	10.2	1,580	3.5	1,100	0.4	74.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	14,850,000株	24年3月期	14,850,000株
25年3月期1Q	31,548株	24年3月期	31,470株
25年3月期1Q	14,818,472株	24年3月期1Q	14,818,681株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、国内におきましては、為替相場での円高状態が依然続いており、輸出企業等の業績に影響を与えておりますが、高騰していました原油・銅等の原材料価格が一服しましたことや、震災の復興需要、自動車のエコカー補助金による内需拡大を背景に、景気は緩やかに回復しつつあります。

一方海外におきましては、ユーロ圏の債務問題が長期化するなか、新興国におきましても、欧州向け輸出が鈍化する等の要因により経済が減速傾向にあり、また米国におきましては、景気は緩やかな回復基調にありますが、改善しない失業率や住宅価格の下落等により、景気の下振れリスクを抱える状況となっております。

このような状況のなか、当企業集団におきましては、各国でのデジタル無線通信方式導入計画に合わせまして、要求スペックに適合するデジタル無線通信システムの提案を行うとともに、従来方式の無線通信機器の販売促進活動を強力に推進しましたことから、前年同期比で増収となりました。

損益面では、増収にともなう増益の他、前期に引き続き生産工場における生産効率改善活動や、外貨建て部材の調達率アップ活動の効果により営業利益は前年同期比で増益となりましたが、円高による外貨建資産の為替差損により、経常利益及び四半期純利益は前年同期比で減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は56億1千9百万円と、前年同期に比べ2億2千万円(4.1%増)の増収となり、営業利益は2億1百万円と、前年同期に比べ2千9百万円(17.3%増)の増益となりましたが、経常利益は4千4百万円と、前年同期に比べ1億6千9百万円(79.3%減)の減益、四半期純利益も1千1百万円と、前年同期に比べ1億1千6百万円(90.9%減)の減益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

日本セグメントにおきまして、国内向けでは復興需要等によりデジタル簡易無線機器等の販売が増加し、また東南アジア等におきましては、陸上業務用デジタル無線通信機器や、低価格VHF帯シングルバンド携帯型無線機器等の販売が好調に推移したことから、外部顧客に対する売上高は32億7千4百万円(前年同期比5.8%増)となりましたが、研究開発費等の増加により、営業利益は1億5千9百万円(前年同期比16.5%減)となりました。

② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

北米セグメントにおきまして、ICOM CANADAを子会社化した影響の他、米国における無線通信方式のナロー化にともなう陸上業務用デジタル無線通信機器への買い替え需要や、海上用無線通信機器の新製品効果により、為替相場におけるドル安円高の影響もありましたが、外部顧客に対する売上高は18億3百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は7千7百万円(前年同期比152.6%増)となりました。

③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

ヨーロッパセグメントにおきまして、長期化するユーロ圏の債務問題は未だに解決の糸口を見せておらず、一部の地域を除くヨーロッパ全体の景気の停滞は、無線通信機市場にも打撃を与えており、また長引くユーロ安の影響もあり、売り上げが大きく減少しましたことから、外部顧客に対する売上高は1億8千7百万円(前年同期比17.1%減)となり、1千2百万円の営業損失(前年同期は5百万円の営業損失)となりました。

④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.]

アジア・オセアニアセグメントにおきまして、アマチュア用無線通信機器の販売が大きく減少しましたが、CB無線機等の陸上業務用無線通信機器や、新たに投入しました海上用無線通信機器の販売が好調に推移しましたことから、外部顧客に対する売上高は3億5千3百万円(前年同期比6.9%増)となりました。しかし、品目別売上の変動による売上総利益率の低下により、増収による増益が販売費及び一般管理費の増加を賄いきれず、営業利益は3千7百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の概況は、次のとおりであります。

① 資産

総資産は前連結会計年度比6億3千6百万円減少し、505億7千5百万円となりました。

主な内訳は、前渡金等その他流動資産の増加3億2百万円及びたな卸資産(合計)の増加2億3千2百万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少6億8千万円、公社債の償還等による有価証券・投資有価証券の減少2億5千7百万円及び現金及び預金の減少2億1千3百万円等の減少要因によるものであります。

② 負債

負債合計は前連結会計年度比1億4千5百万円減少し、47億1千2百万円となりました。

主な内訳は、賞与引当金の増加2億3千1百万円及び退職給付引当金の増加3千5百万円等の増加要因と、未払

法人税等の減少2億7千3百万円及び未払金（流動負債その他に計上）の減少1億3千3百万円等の減少要因によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は前連結会計年度比4億9千1百万円減少し、458億6千3百万円となりました。

主な内訳は、四半期純利益による1千1百万円の増加要因と、為替換算調整勘定による減少3億1千8百万円、剰余金の配当による減少1億4千8百万円及びその他有価証券評価差額金による減少3千6百万円等の減少要因によるものであります。以上の結果、自己資本比率は90.5%から90.7%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間並びに通期の見通しにつきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、平成24年5月18日発表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,543	27,330
受取手形及び売掛金	4,804	4,123
有価証券	199	99
商品及び製品	3,004	2,987
仕掛品	61	98
原材料及び貯蔵品	2,304	2,516
その他	1,510	1,813
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	39,410	38,952
固定資産		
有形固定資産	7,024	6,940
無形固定資産	202	201
投資その他の資産		
その他	4,629	4,534
貸倒引当金	△53	△52
投資その他の資産合計	4,575	4,481
固定資産合計	11,802	11,623
資産合計	51,212	50,575
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,386	1,417
未払法人税等	410	136
賞与引当金	406	637
製品保証引当金	41	39
その他	1,250	1,088
流動負債合計	3,495	3,319
固定負債		
退職給付引当金	739	775
その他	621	617
固定負債合計	1,361	1,392
負債合計	4,857	4,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	29,709	29,572
自己株式	△102	△102
株主資本合計	47,136	47,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△57
為替換算調整勘定	△760	△1,078
その他の包括利益累計額合計	△781	△1,136
純資産合計	46,355	45,863
負債純資産合計	51,212	50,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,398	5,619
売上原価	3,283	3,393
売上総利益	2,115	2,226
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	1
給料及び手当	443	463
賞与引当金繰入額	75	74
退職給付引当金繰入額	35	32
試験研究費	650	669
その他	734	784
販売費及び一般管理費	1,943	2,025
営業利益	171	201
営業外収益		
受取利息	56	57
受取配当金	5	7
補助金収入	40	—
その他	15	22
営業外収益合計	117	86
営業外費用		
売上割引	34	39
為替差損	35	194
その他	4	9
営業外費用合計	74	243
経常利益	214	44
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	212	46
法人税等	85	35
少数株主損益調整前四半期純利益	127	11
四半期純利益	127	11

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127	11
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△11	△36
為替換算調整勘定	△70	△318
その他の包括利益合計	△81	△355
四半期包括利益	45	△343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45	△343
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当該事項はありません。